

# 大垣日大 初出場V

【東海大相模一大垣日大】初優勝に、大喜びする大垣日大  
＝神宮球場（千村安雄撮影）



## 大垣日大 初出場V

明治神宮野球大会

（第5日）19日、神宮球場）高校の部の決勝を行い、大垣日大（東海）が10-9で東海大相模（関東）に競り勝ち、初出場優勝した。来春の選抜大会では「神宮大会

梓」として東海地区の出場枠が一つ増える。

大垣日大は5-9の八回に森田の適時打など4長短打を集めて同点とし、九回無死一、三塁からポークで勝ち越した。2002年に神宮大会枠が採用されて以降、東海

【高校】	
▽決勝	
大垣日大（東海）	010030141
東海大相模（関東）	00600003009

勢の優勝は07年の常葉学園菊川以来で4度目。大学の部の決勝、上武大（関東1）―立正大（東都）は雨天のため20日に順延された。

平成21年11月20日付  
産経新聞

※ 無断転載不可

東海大会優勝の時は肩上げを拒んだ大垣日大の阪口監督が雨の中、選手たちの手で11回、宙を舞った。「すごい勢いで子供たちが劣勢をはね返してくれた」。積極的な攻撃で両軍合わせて7失策の乱戦を制した。2点差に追い上げた八回二死二、三塁で、今大会から1番に定着した森田が左前打。二走・須藤が迷わず本塁に突っ込むと、捕手が落球し同点に追いついた。

### 積極攻撃 劣勢はね返す

て、3試合で35安打21得点。七回に初球を本塁打にした森田は「ファーストストライクから狙う練習を徹底しているし、バットのヘッドスピードを上げるためティーバッティングをたくさんやってきた」と胸を張った。「（4失策した）守備を鍛え直して（春の）選抜大会に帰ってきた」と小尾主将。スタメンに5人の1年生が並ぶ若き、秋の王者には、まだまだ伸びしろがある。

（宝田将志）

11月14日から5日間、第40回記念明治神宮野球大会が開催され、大垣日大高校が初出場にして優勝を飾りました！決勝では前半で劣勢に陥るも怒涛の巻き返しを図り、東海大相模高校に10-9での勝利です。